

ミズゴケ科

ホソバミズゴケ

Sphagnum girgensohnii Russow

兵庫県ランク… A

環境省ランク… －

県内分布

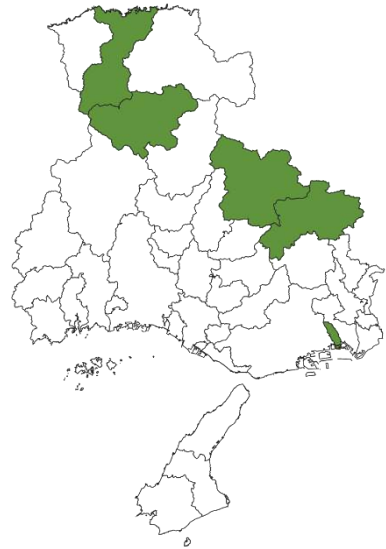
芦屋市、養父市、香美町、丹波篠山市、丹波市

国内分布

北海道、本州、九州

選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



特記事項

芦屋市での現状は数回の調査でも生育を確認できない。現状は不明だが、生育環境が破壊されている。2007年に報告のあった香美町大沼の群落は確認できず。一方、古生沼での生育を確認。

保護上の留意点

芦屋市の産地はイノシシによる掘り返しにより、生育地が破壊された影響が絶大。

種の概要

植物体は比較的大型で、ふつう長さ15-20cm、淡緑色で赤くならず、開出枝よりも下垂枝の方がずっと長くなる。茎葉は先端のみがささくれる。枝葉の先端は細く伸びるが、やや切頭、葉の上部は強く反り返り、背面には多くの楕円形の孔がある。横断面で葉緑細胞は腹側が広い。雌雄同株(異苞)または異株。亜高山帯の森林の林床、林縁の腐植土上に生育する。